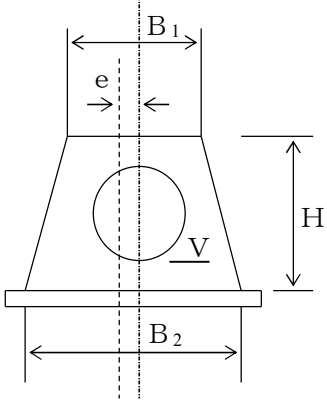


工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準	
17 た め 池 改 修 工 事	1 堤体工	1 基準高(V)	⊕ 65	⊕ 100	線的なものについては 施工延長おおむね 20m につき 1 箇所割合で 測定する。 上記未満は 2 箇所測定 する。
		2 堤幅(W)	天端幅、小段幅等 ⊖ 65 (鋼土 ⊕ 300、⊖ 0)	⊖ 100	
		3 法長(L)	⊖ 65	⊖ 100	
		4 施工延長		⊖ 200	
	2 洪水吐工	1 基準高(V)	⊕ 20	⊕ 30	基準高、幅、厚さ、高さ、 中心線のズレについては 施工延長 1 スパンに つき 1 箇所割合で測 定する。 箇所単位のものについ ては適宜構造図の寸法 表示箇所を測定する。
		2 幅(B)	⊕ 20	⊕ 30	
		3 厚さ(T)	⊕ 13	⊕ 20	
		4 高さ(H)	⊕ 20	⊕ 30	
		5 中心線の ズレ(e)	直線部 ⊕ 35	直線部 ⊕ 50	
			曲線部 ⊕ 65	曲線部 ⊕ 100	
		6 スパン長 (L)	直線部 ⊕ 13	直線部 ⊕ 20	
曲線部 ⊕ 20	曲線部 ⊕ 30				
7 施工延長 (又は長さ)		⊖ 150			

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式 2-1、2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
基準高、堤幅、法長で 20 点以上のもの	左記のもので 20 点未満のもの及び施工延長	左記のもので箇所単位のもの		<ol style="list-style-type: none"> 1 鋼土の幅は盛土高 1m 毎に管理する。 2 測定は原則として、水平距離とするが、法長の場合は斜距離とする。 3 出来形測定と写真は同一箇所で行う。 4 出来形図は横断図面を利用して作成する。
基準高、幅、厚さ、高さ、中心線のズレ、スパン長で 20 点以上のもの	左記のもので 20 点未満のもの及び施工延長	箇所単位の構造物について、基準高、幅、厚さ、幅、高さ		スパン長の標準を 9 m とした場合。

工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準	
17 た め 池 改 修 工 事	3 樋管工 同上付帯構 造物(土砂 吐ゲート 等)	1 基準高(V)	± 20	± 30	基準高、幅、厚さ、高さ、 中心線のズレについて は施工延長 10mにつき 1箇所割合で測定す る。 ジョイント間隔につい ては、1本毎に測定す る。 箇所単位のものについ ては適宜構造図の寸法 表示箇所を測定する。
		2 幅 (B)	⊕ 20 ⊖ 13	⊖ 20	
		3 厚さ(T)	⊕ 20 ⊖ 13	⊖ 20	
		4 高さ(H)	⊕ 13	⊖ 20	
		5 中心線の ズレ(e)	直線部 ⊕ 35	直線部 ⊕ 50	
			曲線部 ⊕ 65	曲線部 ⊕ 100	
6 施工延長		⊖ 150			

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2、3-4)	結果一覧表によるもの (様式 3-1、 3-4)	構造図に朱記、併記するもの		
基準高、幅、厚さ、高さ、中心線のズレ、ジョイント間隔で 20 点以上のもの	左記のもので、20 点未満のもの	箇所単位の構造物について、基準高、幅、厚さ、幅、高さ		<ol style="list-style-type: none"> 1 基準高(V)は管底を原則とする。 2 プレキャストコンクリート製品使用の場合である。 3 底樋がトンネルの場合、農業土木工事基準 5 水路トンネル工事の 1 に準ずる。 4 斜樋等付帯構造物は、農業土木工事基準 1 共通工事の 8 コクリート付帯構造物に準ずる。ただし、基準高(V)は、取水孔(ゲート中心)の標高とし、高さ(H)は斜面と直角方向とする。